



当社工場内ショールーム「MA-LABO」

○本社所在地：東京都港区高輪4-23-5
碌々ビル

○事業概要：高精度加工機、微細加工機、
特殊加工機、プリント配線
基板加工機、各種専用機等
の開発・製造・販売

○常時使用する従業員：168名
(2026年3月時点)

○現在の売上高：57億円
(2026年3月期)

○法人番号：3010401032027

○Web：https://www.roku-roku.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
矢野 雄介

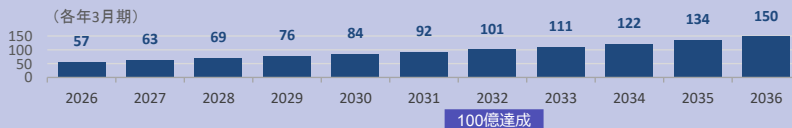
お客様の困りごとを解決し、微細・高精度加工の限界を押し広げる

当社は明治時代の創業以来、お客様のニーズに合わせた各種工作機械の開発・製造・販売を続けてまいりました。長年蓄積してきたNAK材・ガラス・セラミック・超硬など様々な難削材の微細・高精度加工技術は、半導体・医療・光学を中心に各分野でお客様より高い評価をいただいております。そして2023年の120周年を機に社名を改め、ソリューションカンパニーへの転身を宣言いたしました。今後は機械単体にとどまらず、加工方法・工具・クランプ・自動化までを一貫してご提案してまいります。売上高100億円企業への成長を通じて、技術・技能の継承と社員の待遇改善、地域サプライヤーとの共存共栄を実現してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年の売上高100億円達成に向け、年率10%程度の成長を目指す（2026年3月期 売上高57億円）。100億円は通過点であり、2036年に売上高150億円を最終目標とする。



課題

- ①部品加工設備の老朽化（5面加工機2台のうち1台が未更新）
- ②精密な組立作業に不可欠な恒温スペースの不足（組立2工場が未恒温化）
- ③採用難と技術・技能継承の遅れ（一人前に育つまでに約10年）
- ④生産能力拡大に伴う設備投資の負担が大きい
- ⑤国内市場の停滞と海外製との価格競争の激化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①半導体後工程の検査治具・半導体製造装置向けのシェア拡大
- ②東南アジア（タイ・ベトナム・マレーシア・シンガポール・フィリピン）への販売強化と米国・欧州の商流拡大
- ③ロボットシステムを組み込んだ自動化仕様の市場投入による装置単価の拡大
- ④社内設備の増強と地域サプライヤー連携による生産台数の増加
- ⑤難削材の加工技術ごと提案するテストカット主体の商談による受注拡大

実施体制

- ①海外に強い日系機械商社との連携による販売網の強化
- ②組立2工場の断熱工事による恒温組立スペースの拡大
- ③恒温設備を持つ近隣協力工場の活用による組立能力の補完
- ④加工設備の増強とレトロフィットによる製造部門の強化
- ⑤構造体の高精度化による組立工数の低減と品質の安定
- ⑥近隣サプライヤー・OEM先との連携による増産体制の確立
- ⑦採用チームによる大学・高専・高校への直接アプローチ
- ⑧ユニット組立から総組みへ段階的に進める技能継承